

平成25年度

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

学校法人茶屋四郎次郎記念学園

事業報告書

学校法人茶屋四郎次郎記念学園

東京福祉大学・大学院

東京福祉大学短期大学部

学校法人茶屋四郎次郎記念学園

平成25年度事業報告書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

法人の概要

1. 法人の名称 学校法人 茶屋四郎次郎記念学園
2. 事務所の所在地 東京都豊島区東池袋四丁目23番1号
3. 設置する学校
  - ①東京福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科 保育児童学科
  - ②東京福祉大学教育学部 教育学科
  - ③東京福祉大学心理学部 心理学科
  - ④東京福祉大学大学院(M、D) 社会福祉学研究科  
心理学研究科  
教育学研究科
  - ⑤東京福祉大学短期大学部 こども学科
  - ⑥東京福祉大学通信教育部 社会福祉学部、教育学部、心理学部、  
大学院(M)、短期大学部

4. 学生数

①学生数

(単位:名)

学部・学科名	入学定員	入学者数	収容定員*1	在籍学生数
社会福祉学部				
社会福祉学科	270名	314名	1,110名	1,380名
保育児童学科	350名	269名	1,460名	966名
教育学部・教育学科	300名	326名	1,260名	1,504名
心理学部・心理学科	150名	190名	630名	757名
学部計	1,070名	1,099名	4,010名	4,607名
短期大学部・こども学科	50名	38名	150名	106名
通信教育部				
社会福祉学部	1,020名	378名	5,215名	1,041名
教育学部	480名	132名	3,980名	380名
心理学部	400名	180名	2,325名	673名
短期大学部	800名	128名	2,400名	418名
通信教育部計	2,700名	818名	13,920名	2,512名
大学院*2				
社会福祉学研究科	23名	4名	49名	24名
心理学研究科	13名	9名	29名	18名
教育学研究科	10名	11名	20名	15名
大学院(通信教育)				
社会福祉学研究科	70名	9名	140名	35名
心理学研究科	20名	7名	40名	27名

(平成25年5月1日現在)

\*1 収容定員には年次編入学者数を含んでいる。

\*2 大学院は博士課程前期・後期を合算している。

\*3 通信教育課程は、春季入学学生並びに秋季入学学生、編入学学生含んでいる。

②卒業生数(平成26年3月21日卒業)

<通学課程>

(単位:名)

学部・学科名	卒業生数	国家試験等合格者数	就職率等
社会福祉学部 社会福祉学科 保育児童学科	306名 177名	181名※1 (教員9名※2) (公務員25名)	96.0%
教育学部 教育学科	375名	(教員159名※2) (公務員17名)	95.4%
心理学部 心理学科	175名	(教員1名※2) (公務員3名)	90.2%
短期大学部こども学科	30名	(教員1名※2) (公務員1名※2)	100.0%
大学院 社会福祉学研究科 心理学研究科 教育学研究科	3名 5名 2名	(臨床心理士11名*1)	

※1 国家試験合格者数は社会福祉士、精神保健福祉士試験に合格した者の合計数で、大学院は臨床心理士認定試験に合格した者の数で、既卒者の合格者も含んでいる。

※2 臨時採用を含んでいる。

<通信教育課程>

(単位:名)

学部・学科名	卒業生数	国家試験等合格者数
社会福祉学部 社会福祉学科 保育児童学科	160名 90名	206名
教育学部・教育学科	83名	
心理学部・心理学科	84名	
短期大学部こども学科	169名	
大学院 社会福祉学研究科 心理学研究科	5名 8名	

③留学生日本語別科(平成25年5月1日 現在)

191名(在籍者数)

5. 役員及び評議員

理事 9名、監事 2名、評議員 28名

6. 教職員の状況(平成25年5月1日現在)

教員数 ①東京福祉大学社会福祉学社会福祉学科 62名  
 ②東京福祉大学社会福祉学部保育児童学科 28名  
 ③東京福祉大学教育学部教育学科 49名  
 ④東京福祉大学心理学部心理学科 25名  
 ⑤東京福祉大学短期大学部こども学科 14名  
 計 178名

\*東京福祉大学大学院ならびに通信教育部の教員は全員兼担。

職員数 計 244名

## 7. 土地及び建物の状況

### ①土地の状況

校地 46,611.12 m<sup>2</sup> (276.88 m<sup>2</sup>は借地権で 3,306.00 m<sup>2</sup>は借地で内数)

グラウンド 23,316.00 m<sup>2</sup> (8,480.00 m<sup>2</sup>は借地で内数)

### ②建物の状況

校舎 40,306.86 m<sup>2</sup> (14,215.58 m<sup>2</sup>は賃貸で内数)

## 教育体制の概要

### 1. 教育体制について

#### ①経営福祉専攻について

社会福祉学部 社会福祉学科では、平成 26 年度に向け、名称を社会福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻 経営福祉コースから社会福祉学部 社会福祉学科 経営福祉専攻に変更した。

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 同社会福祉学専攻(通信教育課程)経営福祉関連のカリキュラムを 26 年度から変更した。選択科目に「経営福祉関連研究」の領域を開設し、実施するために関連する学則の変更を行った。

②社会福祉学部 社会福祉学科 保育児童福祉コースについて、専攻名変更の届出を行い、平成 26 年度から社会福祉学部 社会福祉学科 保育児童福祉専修となった。

③教育学部 教育学科 日本語通訳コースについて、コース名変更の届出を行い、平成 26 年度から教育学部 教育学科 日本語教育コースになった。

④社会福祉学部 保育児童学科 通信教育課程、教育学部 教育学科 通信教育課程、短期大学部 こども学科 通信教育課程の入学定員、編入学定員並びに収容定員を減員する申請を行い、平成 26 年度から次のとおり減員した。

社会福祉学部 保育児童学科 通信教育課程

入学定員 500 名→100 名

編入学定員 2 年次 110 名→100 名

収容定員 2510 名→880 名

教育学部 教育学科 通信教育課程

入学定員 480 名→300 名

編入学定員 3 年次 990 名→300 名

収容定員 3980 名→1880 名

短期大学部 こども学科 通信教育課程

入学定員 800 名→300 名

収容定員 2400 名→900 名

⑤幼児教育に関するカリキュラムが認定こども園法に伴い、変更された。すでに幼稚園教諭免許状や保育士資格のいずれかを取得済みで、幼稚園教諭または保育士としての実務経験のある方は、科目等履修で幼稚園教諭免許状または保育士資格を取得することができるようになる。

⑥心理学研究科並びに心理学研究科(通信教育課程)では、届出を行い、平成 26 年度より授業科目を増やし、カリキュラムを変更することになった。

⑦心理学部 心理学科、社会福祉学部 保育児童学科の入学定員、収容定員変更の変更を 27 年度から実施するため文部科学省に平成 26 年度に届出をすることになった。次のとおり変更する。

心理学部 心理学科

入学定員 150 名→200 名

収容定員 630 名→830 名

社会福祉学部 保育児童学科

入学定員 350 名→300 名

収容定員 1460 名→1260 名

⑧実習及びキャリア支援の充実を図るため、福祉実習指導室を福祉専門職支援室と組織改編した。

## 2. 短期大学の自己点検評価について

平成24年度に一般財団法人短期大学基準協会による第三者認証評価を受審し、平成25年3月に短期大学部が「適格」との評価結果を受けた。認証評価については、毎年、短期大学部独自の基準で自己点検を実施し、その結果を公表することになっている。今年度については、第三者認証評価で重点課題と指摘された事項の改善状況を中心とした自己点検評価を実施し、「平成25年度 自己点検・評価報告書」としてまとめた。これについては、短期大学部の自己点検評価委員会、教授会にて承認を受けており、教育研究評議会にも報告された。平成26年5月23日の評議員会、理事会の承認を経て大学HPで公表する予定。

## 3. 大学の第三者認証評価について

大学の第三者認証評価については、平成24年9月に再受審の申請を行い、平成25年10月に公益財団法人日本高等教育評価機構による実地調査が実施された。

再評価の結果、東京福祉大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしていると認定された。再評価結果については、平成26年3月に公益財団法人日本高等教育評価機構のHP及び大学HPにて公表している。

## 4. 教育施設の整備拡充

1) 名古屋キャンパスの施設整備として、下記物件を取得した。

### ①メイワスカイビル

住所 愛知県名古屋市中村区角割町一丁目 12 番 2、12 番 6

構造 鉄筋コンクリート造陸屋根 4 階建

延床面積 230.83 m<sup>2</sup>

用途 学生寮

2) 王子キャンパスの施設整備として、下記物件を取得した。

### ①1号館

住所 東京都北区堀船二丁目 1 番 1

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根 地上 9 階建

延床面積 1,758.30 m<sup>2</sup>

用途 教室等

3) 王子キャンパスの施設整備として、下記各ビルを賃借し、校舎の拡充を図った。

### ①ワコーメックビル 別館 1

住所 東京都北区堀船一丁目 34 番地 3、34 番地 4、34 番地 18

構造 鉄骨造陸屋根 6 階建

延床面積 638.52 m<sup>2</sup>(本学使用部分は3階 153.72 m<sup>2</sup>)

用途 研究室等

### ②渡部ビル 別館 2

住所 東京都北区堀船一丁目 34 番地 4、34 番地 3、34 番地 18

構造 鉄骨造陸屋根 4 階建

延床面積 262.48 m<sup>2</sup>(本学使用部分は 2 階 18.02 m<sup>2</sup>、3 階 32.56 m<sup>2</sup>)

用途 研究室、講師控室等

4) 王子キャンパスの施設整備として下記物件の新築工事を行っている。

### ①2号館

住所 東京都北区堀船二丁目 1 番 4、11、12、13

延床面積 4,096.71 m<sup>2</sup>

用途 教室、図書館等

5) 王子キャンパスの校地として、下記土地を取得した。

①1号館

住所 東京都北区堀船二丁目1番1

面積 489.00 m<sup>2</sup>

地目 宅地

用途 校舎用地

②2号館

住所 東京都北区堀船二丁目1番4、11、12、13

面積 857.64 m<sup>2</sup>

地目 宅地

用途 新規校舎建設用地

## その他事業の概要

### 1. 国際交流の概要

①アメリカ夏期短期研修が平成25年7月14日から同8月7日までA、B、Cの3コースに分かれ実施された。ニューヨークのフォーダム大学、ボストンのハーバード大学での講義や現地で福祉施設見学訪問など、現地でなければ体験できない貴重な体験をした。

また、学習の後は、現地の有名所の観光や本場ミュージカルの鑑賞等も行われ、有意義で充実した時間を過ごした。研修中学生は、毎日がとても充実していて、たくさんのことを吸収しながら楽しく学習を行った。

②ベトナム冬期短期留学が平成26年3月2日から同3月12日までの11日間の日程で実施された。参加した学生はハノイ、ダナン、フエ、ホーチミンを訪問した。ダナンでは5泊のホームステイを体験した。ハノイ貿易大学、ドンア大学、ホーチミン市師範大学等を訪問し同世代の学生との交流を通じ、国際交流を肌で体験した。

### 2. 地域貢献の概要

①伊勢崎市教育委員会との協定に基づく教育等支援について

伊勢崎市内の小・中学校34校(平成25年度)へ延べ173名の学生が、夏休み等を利用し、学校の学習塾や保健室業務等に教諭のサポート役を買ってでて、いわゆるボランティアリーダーとして本学学生が活動している。実施した小・中学校の先生からは大変に感謝され、毎年の継続を強く要望されている。

②公開講座について

広く市民等に公開されている本学の公開講座は、すでに恒例行事となっている。年ごとに規模も拡大・充実されてきており、本年度は次のとおり講座が開講された。

本学開講講座数		13講座
開催日数	延べ	6日
参加人数	延べ	442名
伊勢崎市(高齢福祉課)との連携公開講座		1講座
開催日数		1日
参加人数		21名

### 3. 各種委員会の活動概要

今年度の開催状況は次の通り。教育研究評議会が14回開催、各全学委員会の開催状況は、全学総務委員会10回、全学教務委員会10回、全学学生支援委員会9回、全学入試管理委員会19回、通信教育委員会11回、自己点検評価委員会4回、国際交流センター運営委員会4回、図書館運営委員会6回、日本語別科委員会21回、人事委員会1回、将来計画委員会1回、財務委

員会8回、衛生委員会8回、保健管理センター運営委員会6回となっている。

各専門部会の開催状況は、倫理不正防止専門部会6回、セクシャル・ハラスメント等対策専門部会7回、学会誌等編集専門部会9回、地域連携推進専門部会5回、ファカルティ・ディベロップメント専門部会12回、福祉実習専門部会7回、教育実習専門部会6回、教養教育専門部会7回、キャリア教育専門部会6回となっている。

各作業部会の開催状況は、危機管理対策作用部会7回、情報技術部会4回、広報誌編集作業部会8回となっている。

また、全学教務委員会の下部委員会として「アカデミックアドバイザー支援専門部会」「カリキュラム編成専門部会」が平成26年度より設置されることになった。

全学委員会、各専門部会、各作業部会の活動状況は、全体ミーティングで全教職員に発表され、全体での情報の共有化と課題への意識づけがなされている。

#### 4. 学事の概要

①入学式	平成25年4月6日
②春期オリエンテーション	平成25年4月1日～5日
③春期授業開始日	平成25年4月8日
④赤城山宿泊研修(伊勢崎)	平成25年6月29日～平成25年7月11日
⑤創立記念日	平成25年6月26日
⑥赤城山宿泊研修(池袋)	平成25年5月28日～平成25年6月15日
⑦赤城山宿泊研修(池袋別科)	平成25年6月18日～平成25年6月20日
⑧赤城山宿泊研修(名古屋別科)	平成25年6月21日～平成25年6月25日
⑨アメリカ夏期短期研修	平成25年7月14日～平成25年8月7日
⑩春期授業終了日	平成25年9月17日
⑪春期期末試験	平成25年9月18日～9月24日
⑫合同スポーツデー	平成25年9月26日
⑬秋期オリエンテーション	平成25年9月30日～10月3日
⑭秋期授業開始日	平成25年10月4日
⑮学園「千輝祭」(伊勢崎)	平成25年10月12日～平成25年10月13日
⑯学園「千輝祭」(池袋、名古屋)	平成25年10月19日～平成25年10月20日
⑰秋期期末試験	平成26年2月17日～21日
⑱秋期授業終了日	平成26年2月24日
⑲ベトナム冬期短期留学	平成26年3月2日～平成26年3月12日
⑳卒業式	平成26年3月21日

※秋期は大雪の関係で秋期の授業終了日が予定から変更となり、予定されていた最終授業日の2月15日の授業が2月24日に変更となったため、期末試験期間後に最終授業日となっている。

#### 法人運営の概要

##### 1. 理事会・評議員会の開催状況

###### ①第1回理事会(平成25年4月11日開催)

議案 第1号 理事、理事長及び評議員の辞任について 第2号 理事の選任について  
第3号 評議員の選任について

###### ②第2回理事会(平成25年4月11日開催)

議案 第1号 理事長の選任に関する件

###### ③第3回理事会・第1回評議員会(平成25年5月24日開催)

議案 第1号 平成24年度事業報告書並びに平成24年度決算について 第2号 役員の選任について 第3号 校地・校舎の購入について 第4号 日本私立大学協会の評議員に

について 第5号 経営福祉専攻について 第6号 規定の制定等について  
報告 第1号 懲戒解雇について 第2号 認証評価について 第3号 文部科学省からの  
の通知文への回答について 第4号 将来計画について

④第4回理事会（平成25年度6月21日開催）

議案 第1号 自己評価報告書について

報告 第1号 王子キャンパスについて 第2号 横領事件について 第3号 規定の改  
定について

⑤第5回理事会・第2回評議員会（平成25年9月19日開催）

議案 第1号 認証評価について 第2号 「コンプライアンス宣言」について

第3号 学則等の変更について 第4号 王子キャンパスについて

第5号 役員の選任について

報告 第1号 規定の改訂について

⑥第6回理事会・第3回評議員会（平成26年3月7日開催）

議案 第1号 役員の改選について 第2号 学則の変更について

第3号 名古屋キャンパスの施設整備について 第4号 組織の改訂について

報告 第1号 役員の改選について 第2号 認証評価について

第3号 日本私立学校・共済事業団 改善状況報告書について 第4号 法人運営調査委員  
による調査結果について

⑦第7回理事会・第4回評議員会（平成26年3月26日開催）

議案 第1号 平成26年度事業計画について 第2号 平成26年度収支予算について

第3号 平成25年度収支補正予算について 第4号 規定の改訂等について 第5号 学  
則等の変更について 第6号 授業料等の変更について 第7号 理事の選任について

報告 第1号 横領事件のその後について 第2号 経常費補助金について

第3号 人事について

## 2. 理事長の変更について

平成25年4月11日開催の理事会において、松原眞志夫理事長から水野良治理事長に理事  
長が変更になった。

## 3. 規則・規程の整備状況

学校法人茶屋四郎次郎記念学園規定集 「第1編 法人」では、新設9、改訂5、「第2  
編 大学」では、新設6、改訂40、「第4編 附属機関・施設」では、新設2、改訂1、  
「第5編 短期大学部」では、新設4、改訂15となっている。

今年度中に整備施行された規則・規程で主要なものは次のとおり。

### 【第1編 法人】

事務組織規則、公印取扱規則、スタッフ・ディベロップメント規程、保健管理センター規程、  
保健管理センター運営委員会規程、公用車管理規程、運転者登録取扱内規、財務委員会規程、  
契約事務規程、法人の管理運営に関する外部評価委員会規程、公益通報者の保護等に関する  
規程、課長等連絡会規程、監事監査規程、内部監査規程

### 【第2編 大学】

全学総務委員会に置く情報技術部会規程、全学総務委員会に置く広報誌編集作業部会規程、  
全学総務委員会に置く倫理・不正防止専門部会規程、全学総務委員会に置くセクシャル・ハ  
ラスメント等対策専門部会規程、全学総務委員会に置く学会誌等編集専門部会規程、全学総  
務委員会に置く地域連携推進専門部会規程、全学教務委員会規程、全学教務委員会に置くフ  
ァカルティ・ディベロップメント専門部会規程、全学教務委員会に置く研究奨励専門部会規

程、全学教務委員会に置く福祉実習専門部会規程、全学教務委員会に置く教育実習専門部会規程、全学教務委員会に置く教養教育専門部会規程、全学教務委員会に置くキャリア教育専門部会規程、全学学生支援委員会規程、全学入試管理委員会規程、人事委員会規程、自己点検・評価委員会規程、通信教育委員会規程、留学生日本語別科委員会に関する規程、社会福祉養成科目及び精神保健福祉士養成科目担当教員の採用基準内規、保育士養成科目担当教員の採用基準内規、留学生日本語別科非常勤講師取扱に関する内規、入学者選抜規程、科目履修規程、授業及び休講等に関する取扱内規、特別講義に関する内規、聴講生規程、通学課程における入退学に関する規程、通信教育課程における入退学に関する規程、学位規程、通信教育課程に関する規程における学修アドバイザーの取扱内規、学生課外活動規則、授業料等の学費の納付等に関する規程、学内奨学金規程、学生表彰規程、学生懲戒規程、学生の課外活動団体の公認等に関する規程、学内掲示規程

#### 【第4編 付属機関、施設】

東京福祉大学付属臨床心理相談室 臨床心理相談室規程、国際交流センター規程、国際交流センター運営委員会規程

#### 【第5編 短期大学部】

学則、通信教育課程に関する規程、教授会、短大自己点検・評価委員会規程、保育士養成科目担当教員の採用基準内規、入学者選抜規程、授業及び休講等に関する取扱内規、特別講義に関する内規、聴講生規程、通学課程における入退学に関する規程、通信教育課程における入退学に関する規程、通信教育課程に関する規程における学修アドバイザーの取扱内規、学生課外活動規則、授業料等の学費の納付等に関する規程、学内奨学金規程、学生表彰規程、学生懲戒規程、学生の課外活動団体の公認等に関する規程、学内掲示規程

今後引き続き規定の整備を進め、法人の管理運営体制等を支える土台・基本として充実させたい。

## 4. 監事監査等について

### ①監事監査

平成25年5月より「監事監査規程」を施行し、当年度は当該規程に従って年4回の監事監査を実施した。調査の内容は、預金通帳等の管理状況、6月末9月末の預金残高、認証評価に対する準備状況、規定の整備状況、予算の進捗状況、カードの管理状況、内部監査の実施状況、教職員の採用、学生処分等の手続き、期末監査などの確認を行った。

監事からは、「実効ある予算統制が、より統制されるような体制作りが望まれる。」との意見があった。

### ②内部監査

平成25年4月に発覚した横領事件への対応として、平成25年5月より「内部監査規程」を施行し、当年度は当該規程に従って4回の内部監査を実施した。監査項目は、現金預金管理が徹底されているかの確認、実印や銀行印などの管理が徹底されているかの確認、前払金や未入金等特定の勘定科目の内容確認など、今回の横領事件の防止対策をメインとしており、その他役員会議事録の作成状況や教授会への参加状況の確認、クレジットカードの利用内容や物品購入時の決裁手続の確認も行った。

## 5. 学校法人運営調査委員による実地調査について

平成25年10月28日に、伊勢崎キャンパスにて、学校法人の管理運営の組織及びその活動状況、財務状況等に関して、文部科学省の学校法人運営調査委員による実地調査が実施された。

調査結果については、平成26年2月19日付（25文科高第839号）学校法人運営調査委

員による調査結果について（通知）により、以下のような指導・助言、その他の意見の通知があった。

・指導・助言事項

事務職員の横領事案に係る責任の所在について明確にするなど、管理運営や事務処理の改善に向けた実効性ある取り組みを引き続き行うこと。

・その他の意見

（１）図書の減価償却を実施していることについて、図書の管理を適切に行い、会計処理と整合させること。

（２）設置する大学及び短期大学の通信教育課程の定員の在り方について検討すること。

なお、「指導・助言事項」については、改善状況を平成２６年７月１０日までに、報告することになっている。

6. その他

①東日本大震災及び原発事故の被災者のための授業料免除措置を引き続き実施した。

## 決算の概要

平成 25 年度の決算の状況について前年度と対比して、その概要を報告いたします。

### 1.資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部			
科 目	平成 24 年度	平成 25 年度	増減
学生生徒等納付金収入	6,170,373	6,408,026	237,653
手数料収入	147,328	138,584	△ 8,744
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	194,643	200,459	5,816
資産運用収入	6,014	5,719	△ 295
資産売却収入	0	0	0
雑収入	25,100	32,052	6,952
借入金等収入	136,000	2,501,000	2,365,000
前受金収入	2,596,576	2,597,922	1,346
その他の収入	98,093	92,297	△ 5,796
資金収入調整勘定	△ 2,735,645	△ 2,669,155	66,490
前年度繰越支払資金	4,087,255	4,492,266	405,011
収入の部合計	10,725,737	13,799,170	3,073,433

支出の部			
科 目	平成 24 年度	平成 25 年度	増減
人件費支出	3,270,254	3,575,139	304,885
教育研究経費支出	1,554,244	1,781,872	227,628
管理経費支出	1,040,787	1,250,436	209,649
借入金等利息支出	2,379	21,418	19,039
借入金等返済支出	10,000	1,079,500	1,069,500
施設関係支出	206,848	1,596,467	1,389,619
設備関係支出	160,564	333,801	173,237
その他の支出	462,618	531,462	68,844
資金支出調整勘定	△ 474,223	△ 520,591	△ 46,368
次年度繰越支払資金	4,492,266	4,149,666	△ 342,600
支出の部合計	10,725,737	13,799,170	3,073,433

資金収支計算書は当該会計年度の学園諸活動に対応するすべての収支の内容を明らかにし、当該会計年度における支払資金の顛末を表すものです。

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は 9,306,904 千円で、昨年度比 2,668,422 千円の増加となりました。その要因は、学生生徒納付金収入の増加、王子キャンパス校地、校舎の取得による借入金の増加があげられます。次年度繰越支払資金を除く当年度支出は 9,649,504 千円、収支差額は 342,600 千円の支出超過となり、次年度繰越支払資金(貸借対照表流動資産の現金預金の額と一致)は 4,149,666 千円となりました。

## 2.消費収支計算書

(単位:千円)

収入の部			
科 目	平成 24 年度	平成 25 年度	増減
学生生徒等納付金	6,170,373	6,408,026	237,653
手数料	147,328	138,584	△ 8,744
寄付金	0	750	750
補助金	194,643	200,459	5,816
資産運用収入	6,014	5,719	△ 295
雑収入	25,100	119,335	94,235
帰属収入合計	6,543,458	6,872,873	329,415
基本金組入額合計	△ 238,131	△ 270,403	△ 32,272
消費収入の部合計	6,305,327	6,602,470	297,143

支出の部			
科 目	平成 24 年度	平成 25 年度	増減
人件費	3,270,254	3,575,139	304,885
教育研究経費	1,830,857	2,046,101	215,244
管理経費	1,064,956	1,276,299	211,343
借入金等利息	2,380	21,418	19,038
資産処分差額	8,714	34,363	25,649
徴収不能引当金繰入額	108,761	30,791	△ 77,970
消費支出の部合計	6,285,922	6,984,111	698,189
当年度消費収入超過額	19,405	△ 381,641	
前年度繰越消費支出超過額	△ 1,461,696	△ 1,442,291	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 1,442,291	△ 1,823,931	

消費収支計算書は、当該会計年度の帰属収入(学校法人の負債としない収入)から、基本金(学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に必要な資産を継続的に保持するための金額)に組入れる額を控除した消費収入と当該会計年度において消費する資産の取得額と用益の対価に基づいて計算された消費支出を対比し、その内容及び均衡状態を明らかにするものです。(学校法人の経営情報を表す。)

平成 25 年度の帰属収入は 6,872,873 千円となり、前年比で 329,415 千円の増加となりました。収入の大部分を占める学生生徒等納付金は通学課程の学生数増加と留学生日本語別科の学生数増加により前年比 237,653 千円の増加となりました。消費収入は施設設備等に係る基本金 270,403 千円を組入れ、6,602,470 千円となりました。平成 25 年度の消費支出は 6,984,111 千円となり、前年比で 698,189 千円の増加となりました。その主な要因としては、池袋・名古屋キャンパスの学生支援充実のための教職員増加による人件費の増加、平成 24 年度末からの池袋新校舎増加による教育研究経費の増加、王子キャンパス増加による広報費強化等による管理経費支出の増加等があげられます。

以上から平成 25 年度の消費収支差額は 381,641 千円の支出超過となり、前年度からの繰越消費支出超過額は 1,442,291 千円でしたが、当年度の支出超過をうけ、繰越消費支出超過額は 1,823,931 千円へと増加しました。

### 3.貸借対照表

(単位:千円)

資産の部			
科 目	平成 24 年度	平成 25 年度	増減
<b>固定資産</b>	<b>5,655,793</b>	<b>7,349,522</b>	<b>1,693,729</b>
有形固定資産	5,168,248	6,815,807	1,647,559
その他固定資産	487,545	533,715	46,170
<b>流動資産</b>	<b>4,663,578</b>	<b>4,301,455</b>	<b>△ 362,123</b>
現金預金	4,492,266	4,149,666	△ 342,600
その他流動資産	171,312	151,789	△ 19,523
<b>資産の部合計</b>	<b>10,319,371</b>	<b>11,650,977</b>	<b>1,331,606</b>

負債の部			
科 目	平成 24 年度	平成 25 年度	増減
<b>固定負債</b>	<b>234,868</b>	<b>1,651,333</b>	<b>1,416,465</b>
長期借入金	226,000	1,647,500	1,421,500
長期未払金	8,868	3,833	△ 5,035
<b>流動負債</b>	<b>3,101,567</b>	<b>3,127,946</b>	<b>26,379</b>
短期未払金	425,080	450,639	25,559
前受金	2,596,576	2,597,922	1,346
預り金	79,911	79,385	△ 526
<b>負債の部合計</b>	<b>3,336,435</b>	<b>4,779,279</b>	<b>1,442,844</b>

基本金の部			
科 目	平成 24 年度	平成 25 年度	増減
第1号基本金	7,980,227	8,208,629	228,402
第4号基本金	445,000	487,000	42,000
<b>基本金の部合計</b>	<b>8,425,227</b>	<b>8,695,629</b>	<b>270,402</b>

消費収支差額の部			
科 目	平成 24 年度	平成 25 年度	増減
<b>翌年度消費支出超過額</b>	<b>△ 1,442,291</b>	<b>△ 1,823,931</b>	<b>△ 381,640</b>
<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>△ 1,442,291</b>	<b>△ 1,823,931</b>	<b>△ 381,640</b>
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	10,319,371	11,650,977	1,331,606

貸借対照表は、年度末における学校法人の財政状況を表した計算書類です。

資産と負債・基本金・消費収支差額の状態を表示するものであり、資産の部合計＝負債の部合計＋基本金の部合計＋消費収支差額の部合計となっています。

資産総額は 11,650,977 千円で前年比 1,331,606 千円増加しました。この要因としては固定資産が王子キャンパス校地、校舎の取得により増加したことがあげられます。

負債総額は 4,779,278 千円で前年比 1,442,844 千円増加しました。この要因としては王子キャンパス校地、校舎取得のための長期借入金の増加があげられます。

基本金は 8,695,629 千円で前年比 270,402 千円増加しました。これは施設整備、機器備品費などの支出の関係で、第1号基本金が増加したためです。